

新社会

つくば

発行：新社会つくば

TEL 029-857-1154

金子 かずお気付

kaneko@max.hi-ho.ne.jp

<http://kanekokazuo.hakurakuryo.org>

2020年 1月14日 1050㊦



(新春を迎えた筑波山麓)

つくば市新春賀詞交換会が開かる

つくば鳶職組合による祝いの木遣り、纏振りで始まり、五十嵐市長による主催者挨拶で新春賀詞交換会が10日の日につくば市内で開催されました。

当日の交換会には、実行委員でもある桜井姚市商工会長、永田恭介筑波大学長などの他に来賓で国光あやの衆議院議員、石井啓一衆議院議員、郡司彰参議院議員から挨拶を受け、大勢の参加者で和やかなひと時を過ごした。

五十嵐市長は挨拶で、今回の賀詞交歓会では、フードロス削減のために料理の提供量を減らしつつ、満足度の高まる料理とた、また昨年の12月市議会定例会で「つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例」が可決されたことを受け、つくば市産の日本酒やワインの普及を図る予定などを述べた。

参加した金子かずお議員も多くの出席者と交流を図りました。

「終の住処を奪われて福島原発被害東京訴訟」科学者としての生き方は自ら選ぶ「六ヶ所村通信 NO1」原発以外の選択はないのでしょうか・・・

DVD 上映会のご案内

日時 1月18日(土) 午前10時より
場所 広岡交流センター会議室
主催 「終の住処を奪われて」DVDを観る会
料金無料です

・・・

講演会のお知らせ

「はたらくってどういうこと？」

～就労移行支援の現状(いま)～

つくば市内には、就労系の障害福祉サービス事業所が多くあります。全国的に見れば、障がい者雇用でも様々なトラブルや問題も指摘されています。障がい者雇用が促進されることは良いことではありますが、就労先での障がい者への理解や就労の継続など不安と心配は尽きません。市内の福祉団体である「つくば市福祉団体等連絡協議会」では、市内の就労移行支援事業の携わる事業所から現状についてのお話を伺う機会が計画されましたのでお知らせします。

日時 1月28日(火) 10時45分～12時45分

場所 イーアスつくば イーアスホール

講師 サポートセンターきずな

カフェベルガ

ひまわり学園

参加費 無料

上水道の民営化を考える

2018年12月に、水道法の改正案が審議・可決されたことをご存知でしょうか。現在は各自治体が水道を管理していますが、これを民営化しようというのがこの法案の目的です。施設の老朽化による耐震性の不安や、経営基盤の脆弱性といった現状の問題点を解決する方法とされています。民営化にあたっては、施設の所有権を自治体などが保有したまま、利用権を民間に移す「コンセッション方式」が採用されます。

民間企業による自由度の高い運営を可能にすることで、利用者ニーズを反映した質の高いサービスの提供が期待されると思っています。私金子かずおは、この制度については賛成をしかねる立場を表明したいと思いますが、国内ではこの取り組みは今ひとつ進んでいないのが現状であり、外国の例を見ても一時期民営化した都市で再公営化されてきているケースが出てきています。

民営化で見落としとしてならないのは、水道は1本の水道管をつなぐことで1地域につき1社独占になります。サービスの質や価格の安さで利用者をひきつける競争が存在しない。同じインフラの電力では、複数の電力会社が一つの送電網を共有して電気を流す仕組みなので多少競争が働いています。

さらに、問題なのが2018年5月、企業に公共水道の運営権を持たせるPFI法を促進する法律が可決しました。この中で、見過ごせないのが「上下水道や公共施設の運営権を民間に売る際は、地方議会の承認不要」という特例も法律に盛り込まれまし



た。これで、議会は手出しできなくなります。加えて問題なのが、災害時に水道管が壊れた場合の修復も、国民への水の安定供給も、どちらも運営する企業でなく、自治体が責任を負うことになったことでもあります。これから水道管の老朽化による改修費も多くなることが予想される。もし導入されたら大変な負担を背負い込むことになるのではないかと思いますので指摘をしておきます。

家庭内で最も多く水を使うのはどんなシーンでしょう。東京都水道局が公表した「平成27年度一般家庭水使用目的別実態調査」によると、多い順に「お風呂(40%)」、「トイレ(21%)」、「炊事(18%)」、「洗濯(15%)」となりました。シャワーを3分間流しっぱなしにした場合の使用量は、約36リットルといわれています。体を洗うときは、シャワーをこまめに止めたり、湯船のお湯を利用したりするだけでもかなりの節水・節約につながります。

一方、自治体で水道料金の値上げが相次いでいる様子です。昨年の12月議会で水戸市は6年ぶりに、行方市は12年ぶりに、結城市は17年ぶりに料金改定を行っている。つくば市では、2018年度に35年ぶりに料金改定を行い値上げしてき経緯がある。